

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

J1000 U.S. PTO
09/851966
05/10/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2000年 5月12日

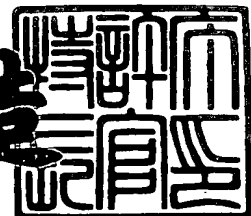
出願番号
Application Number: 特願2000-140172

出願人
Applicant(s): 日本電気株式会社

2001年 3月 2日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3014622

【書類名】 特許願

【整理番号】 68100005

【提出日】 平成12年 5月12日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 13/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

【氏名】 廣瀬 まさみ

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

【氏名】 畑 昌宏

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100088328

【弁理士】

【氏名又は名称】 金田 暢之

【電話番号】 03-3585-1882

【選任した代理人】

【識別番号】 100106297

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 克博

【選任した代理人】

【識別番号】 100106138

【弁理士】

【氏名又は名称】 石橋 政幸

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 089681

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9710078

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子情報送信方法及び電子情報送信システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の端末に接続された通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記情報画面上に、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を表示し、該情報を指定することにより、宛先が前記送信先に設定された情報送信画面を表示することを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 2】 複数の端末に接続された通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記所望の情報の宛先を、前記情報画面上に表示された当該送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を指定することにより特定することを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 3】 通信手段を介して互いに接続された複数の端末に所望の情報を作成及び／もしくは送信するために情報送信画面を表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記情報送信画面を表示する前に、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を表示することを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 4】 複数の端末に接続された通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記情報画面上に、前記送信先に関する電子情報を表示し、該電子情報を指定した場合に、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を表示することを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 5】 複数の端末に接続された通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記情報画面上に、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報と該情報に隣接して特定のアイコンを表示し、該アイコンを指定することにより、宛先が前記送信先に設定された情報送信画面を表示することを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 6】 複数の端末に接続された通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記所望の情報の宛先を、前記情報画面上に表示された当該送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報に隣接して表示されたアイコンを指定することにより特定することを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 7】 請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の電子情報送信方法において、

前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報は、当該送信先の人物の顔写真もしくは企業団体等を特定できるマークであることを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 8】 請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の電子情報送信方法において、

前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報は、当該送信先の人物の顔写真及び名前もしくは企業団体等を特定できるマークであり、該顔写真または名前もしくはマークを指定することにより前記所望の情報の宛先を特定することを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 9】 請求項 7 または請求項 8 に記載の電子情報送信方法において

前記情報送信画面を、前記送信先の人物の顔写真もしくは企業団体等を特定で

きるマークが隠れないように表示することを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 1 0】 請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の電子情報送信方法において、

前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報が表示されている画面上で任意の場所を指定することで前記送信先を特定することを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 1 1】 請求項 1 乃至 1 0 のいずれか 1 項に記載の電子情報送信方法において、

前記所望の情報に、送信元を識別可能な情報を付与することを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 1 2】 請求項 1 1 に記載の電子情報送信方法において、

前記送信元を識別可能な情報は、当該送信元の人物の顔写真であることを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 1 3】 複数の端末に接続された通信手段から供給される情報群の中から所定の情報を指定することにより前記端末を、所望の情報を入力及び／もしくは送信するための情報送信モードに切り替え、前記情報送信モードを用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記端末から、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を出力し、該情報を指定することにより、宛先が前記送信先に設定された情報送信モードに切り替えることを特徴とする電子情報送信方法。

【請求項 1 4】 複数の端末と、前記複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末に情報画面を供給するとともに、前記複数の端末から送信された情報を蓄積する通信手段とを有し、前記複数の端末にて前記通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信システムにおいて、

前記通信手段から前記端末に供給される情報画面には、指定することにより前記送信先を宛先とした情報送信画面を表示させる、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報が表示されていることを特徴とする電子情報送信システ

ム。

【請求項 1 5】 複数の端末と、前記複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末に情報画面を供給するとともに、前記複数の端末から送信された情報を蓄積する通信手段とを有し、前記複数の端末にて前記通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信システムにおいて、

前記所望の情報の宛先は、前記情報画面上に表示された当該送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を指定することにより特定されることを特徴とする電子情報送信システム。

【請求項 1 6】 複数の端末と、前記複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末に情報画面を供給するとともに、前記複数の端末から送信された情報を蓄積する通信手段とを有し、前記複数の端末にて前記通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信システムにおいて、

前記通信手段から前記端末に供給される情報画面には、

前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報と、

該情報に隣接した領域に、指定することにより前記送信先を宛先とした情報送信画面を表示させるアイコンとが表示されていることを特徴とする電子情報送信システム。

【請求項 1 7】 複数の端末と、前記複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末に情報画面を供給するとともに、前記複数の端末から送信された情報を蓄積する通信手段とを有し、前記複数の端末にて前記通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信システムにおいて、

前記所望の情報の宛先は、前記情報画面上に表示された前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報に隣接して表示されたアイコンを指定することに

より特定されることを特徴とする電子情報送信システム。

【請求項 1 8】 請求項 1 4 乃至 1 7 のいずれか 1 項に記載の電子情報送信システムにおいて、

前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報は、当該送信先の人物の顔写真もしくは企業団体等を特定できるマークであることを特徴とする電子情報送信システム。

【請求項 1 9】 請求項 1 4 乃至 1 7 のいずれか 1 項に記載の電子情報送信システムにおいて、

前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報は、当該送信先の人物の顔写真及び名前もしくは企業団体等を特定できるマークであり、該顔写真または名前もしくはマークを指定することにより前記所望の情報の宛先が特定されることを特徴とする電子情報送信システム。

【請求項 2 0】 請求項 1 8 または請求項 1 9 に記載の電子情報送信システムにおいて、

前記情報送信画面は、前記送信先の人物の顔写真もしくは企業団体等を特定できるマークが隠れないように表示されることを特徴とする電子情報送信システム。

【請求項 2 1】 請求項 1 4 または請求項 1 5 に記載の電子情報送信システムにおいて、

前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報が表示されている画面上で任意の場所が指定されることで前記送信先が特定されることを特徴とする電子情報送信システム。

【請求項 2 2】 請求項 1 4 乃至 2 1 のいずれか 1 項に記載の電子情報送信システムにおいて、

前記複数の端末は、前記所望の情報に、送信元を識別可能な情報を付与することを特徴とする電子情報送信システム。

【請求項 2 3】 請求項 2 1 に記載の電子情報送信システムにおいて、

前記送信元を識別可能な情報は、当該送信元の人物の顔写真であることを特徴とする電子情報送信システム。

【請求項 2 4】 複数の端末と、前記複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末に情報群を供給するとともに、前記複数の端末から送信された情報を蓄積する通信手段とを有し、前記複数の端末にて前記通信手段から供給される情報群の中から所定の情報を指定することにより当該端末を、所望の情報を入力及び／もしくは送信するための情報送信モードに切り替え、前記情報送信モードを用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信システムにおいて、

前記通信手段から前記端末に供給される情報群には、指定されることにより、宛先が前記送信先に設定された情報送信モードに切り替える、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報が含まれていることを特徴とする電子情報送信システム。

【請求項 2 5】 複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末から送信された情報を蓄積するサーバにおいて、

所望の送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を前記端末に表示し、該情報を指定することにより前記送信先を宛先として所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示することを特徴とするサーバ。

【請求項 2 6】 複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末から送信された情報を蓄積するサーバにおいて、

前記情報の送信先に関する電子情報を前記端末に表示し、該電子情報が指定された場合に、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な画面情報を前記端末に表示することを特徴とするサーバ。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネットまたはイントラネットを利用した電子情報送信方法及び電子情報送信システムに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

近年、インターネットの普及に伴い、コミュニケーションの手段として電子メールを利用するユーザが増えてきている。インターネットを利用した電子メールは、電話のように相手の都合に合わせた時間に送信する必要がなく、かつ、ファクシミリのように送信に手間をかけることなく、相手に要件を伝達することができるため、今後、ビジネスに限らずプライベートにおいてもその利用のさらなる増加が予想される。

【0003】

通常、電子メールの送信は、端末にメール送信画面を表示させてその画面に所定の内容及びメッセージを入力することにより行う。

【0004】

図13は、一般的に電子メール送信画面を示す図である。

【0005】

電子メールを送信する場合は、送信先を入力するエリア101に電子メールの送信先のメールアドレスを入力し、その後、メッセージを書き込むエリア102に伝達したい要件あるいは情報を入力し、送信先に送信する。なお、エリア101へのメールアドレスの入力は、電子メールを送信する際にユーザが実際にキーボード等の入力手段から入力する場合や、予め登録されているメールアドレスの中から所望のメールアドレスを指定することにより行われる。

【0006】

送信された電子メールは、メールサーバを介して送信先にて受信されることになる。

【0007】

また、インターネットの普及に伴い、ネット上にホームページを開設し、このホームページ上にて情報の提供や商品の売買を行うことが考えられており、多くの企業等がホームページを開設し、情報の提供や商品の販売を行っている。ホームページは、企業に限らず個人でも開設することが可能であり、ホームページを開設することによって、ホームページの開設元においては、商売を行ったり宣伝効果を得ることができ、また、ホームページの利用者においては、様々な情報を容易に入手することができるという利点が生じる。

【 0 0 0 8 】

ここで、上述したようなホームページにおいては、利用者がホームページの開設元に対して、ホームページ上における操作によって容易に電子メールを送信できるように構成されているものがある。

【 0 0 0 9 】

図 1 4 は、ホームページを用いて電子メールを送信する際の動作の一例を説明するための図であり、（ a ）は一般的なホームページの表示画面を示す図、（ b ）は電子メール送信画面を示す図である。

【 0 0 1 0 】

図 1 4 （ a ）に示すように、ホームページ内には、情報が表示されるエリア 2 0 1 の他に、ホームページの開設元を宛先とした電子メール送信画面へのリンクが施されたエリア 2 0 2 が設けられている。

【 0 0 1 1 】

ホームページの利用者がホームページの開設元に電子メールを送信しようとしてエリア 2 0 2 をクリックすると、メーラーが立ち上がり、図 1 4 （ b ）に示すような、送信先アドレスが入力されるエリア 2 0 3 に、ホームページの開設元のメールアドレスが貼り付けられた電子メール送信画面が表示される。

【 0 0 1 2 】

その後、ホームページの利用者が、メールの内容を書き込むエリア 2 0 4 に伝達したい要件あるいは情報を入力し、ホームページの開設元に電子メールを送信する。

【 0 0 1 3 】

このように、ホームページの利用者が、ホームページの開設元への電子メールの送信を希望する場合、ホームページ上の所定のエリアをクリックすることのみで、送信先がホームページの開設元に設定された電子メールの送信画面が表示されるので、ホームページの利用者はメールの内容を入力するだけでホームページの開設元に電子メールを送信することができる。

【 0 0 1 4 】

また、上述したようなホームページの中には、ビジネス効果の向上やコミュニ

ケーションのしやすさを目的として人物の顔写真を表示するものもある。

【 0 0 1 5 】

図 1 5 は、ホームページを用いて電子メールを送信する際の動作の他の例を説明するための図であり、（ a ）は一般的なホームページの表示画面を示す図、（ a ）に示したホームページにリンクしたホームページの表示画面を示す図、（ c ）は電子メール送信画面を示す図である。

【 0 0 1 6 】

図 1 5 （ a ）に示したホームページと図 1 5 （ b ）に示したホームページとは互いにリンクしており、図 1 5 （ a ）に示したホームページ上の所定のエリアをクリックすることにより図 1 5 （ b ）に示したホームページが表示される。

【 0 0 1 7 】

図 1 5 （ a ）に示すようなホームページ上に表示される顔写真の人物のホームページを利用者が閲覧したい場合、その顔写真の表示エリア 3 0 1 をクリックすると、図 1 5 （ b ）に示すような、クリックした顔写真の人物のホームページが表示される。

【 0 0 1 8 】

図 1 5 （ b ）に示すように、顔写真の人物のホームページ内には、情報が表示されるエリア 3 0 2 の他に、顔写真の人物を宛先とした電子メール送信画面へのリンクが施されたエリア 3 0 3 が設けられている。

【 0 0 1 9 】

ホームページの利用者が、顔写真の人物に電子メールを送信したい場合は、図 1 5 （ b ）に示すエリア 3 0 3 をクリックすると、メーラーが立ち上がり、図 1 5 （ c ）に示すような、送信先アドレスが入力されるエリア 3 0 4 に、顔写真の人物のメールアドレスが貼り付けられた電子メール送信画面が表示される。

【 0 0 2 0 】

その後、ホームページの利用者が、メールの内容を書き込むエリア 3 0 4 に伝達したい要件あるいは情報を入力し、顔写真の人物に電子メールを送信する。

【 0 0 2 1 】

このように、ホームページには、そのホームページの開設元に関わる人物の顔

写真等が表示されており、この顔写真等をクリックすることによって、この人物のホームページを閲覧することができる。また、その人物に電子メールを送信する場合は、ホームページ上の所定のエリアをクリックすることにより、送信先が顔写真の人物に設定された電子メールの送信画面が表示され、ホームページの利用者はメールの内容を入力するだけで顔写真の人物に電子メールを送信することができる。

【0022】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述したような従来のものにおいては以下に記載するような問題点がある。

【0023】

(1) 図14に示したものについて

ホームページの開設元に電子メールを送信する場合、ホームページの開設元を宛先とした電子メール送信画面へのリンクが施されたエリアを電子メールの送信者が探さなければならない。

【0024】

一般的に、電子メール送信画面へのリンクが施されたエリアはホームページの最後のページに表示されている場合が多く、その場合、電子メールを送信することのみを目的としてホームページを表示させたとしても、最後のページまでページを捲っていかなければならず、手間がかかってしまう。

【0025】

また、端末に表示されたホームページ内に記述された電子メールのアドレスに、利用者が送信先を特定できる要素が含まれていない場合、所望の送信先と同姓同名の人物の電子メールアドレスを所望の送信先の電子メールアドレスであると誤解し、所望しない送信先に電子メールを送信してしまう虞れがある。この電子メールの送信ミスにおいては、送信された電子メール内に極秘情報が含まれていた場合、極秘情報が他人に漏れてしまうという問題が生じてしまう。

【0026】

(2) 図15に示したものについて

ホームページに表示された顔写真をクリックすることにより顔写真の人物のホームページが表示されるが、これは顔写真の人物からホームページの利用者に対する一方的な情報提供であるため、利用者から顔写真の人物に対するコミュニケーションを図ることができない。

【 0 0 2 7 】

また、顔写真の人物のホームページを用いて顔写真の人物に電子メールを送信する場合においては、図 1 4 に示したものと同様に、電子メール送信画面へのリンクが施されたエリアを利用者が探さなければならないという問題点がある。

【 0 0 2 8 】

本発明は、上述したような従来の技術が有する問題点に鑑みてなされたものであって、ホームページを用いて、正確にかつ手間をかけずに電子メールを送信することができる電子情報送信方法及び電子情報送信システムを提供することを目的とする。

【 0 0 2 9 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明は、

複数の端末に接続された通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記情報画面上に、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を表示し、該情報を指定することにより、宛先が前記送信先に設定された情報送信画面を表示することを特徴とする。

【 0 0 3 0 】

また、複数の端末に接続された通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記所望の情報の宛先を、前記情報画面上に表示された当該送信先を識別もし

くは確認または選択可能な情報を指定することにより特定することを特徴とする。

【 0 0 3 1 】

また、通信手段を介して互いに接続された複数の端末に所望の情報を作成及び／もしくは送信するために情報送信画面を表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記情報送信画面を表示する前に、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を表示することを特徴とする。

【 0 0 3 2 】

また、複数の端末に接続された通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記情報画面上に、前記送信先に関する電子情報を表示し、該電子情報を指定した場合に、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を表示することを特徴とする。

【 0 0 3 3 】

また、複数の端末に接続された通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記情報画面上に、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報と該情報に隣接して特定のアイコンを表示し、該アイコンを指定することにより、宛先が前記送信先に設定された情報送信画面を表示することを特徴とする。

【 0 0 3 4 】

また、複数の端末に接続された通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記所望の情報の宛先を、前記情報画面上に表示された当該送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報に隣接して表示されたアイコンを指定することにより特定することを特徴とする。

【 0 0 3 5 】

また、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報は、当該送信先の人物の顔写真もしくは企業団体等を特定できるマークであることを特徴とする。

【 0 0 3 6 】

また、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報は、当該送信先の人物の顔写真及び名前もしくは企業団体等を特定できるマークであり、該顔写真または名前もしくはマークを指定することにより前記所望の情報の宛先を特定することを特徴とする。

【 0 0 3 7 】

また、前記情報送信画面を、前記送信先の人物の顔写真もしくは企業団体等を特定できるマークが隠れないように表示することを特徴とする。

【 0 0 3 8 】

また、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報が表示されている画面上で任意の場所を指定することで前記送信先を特定することを特徴とする。

【 0 0 3 9 】

また、前記所望の情報に、送信元を識別可能な情報を付与することを特徴とする。

【 0 0 4 0 】

また、前記送信元を識別可能な情報は、当該送信元の人物の顔写真であることを特徴とする。

【 0 0 4 1 】

また、複数の端末に接続された通信手段から供給される情報群の中から所定の情報を指定することにより前記端末を、所望の情報を入力及び／もしくは送信するための情報送信モードに切り替え、前記情報送信モードを用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信方法において、

前記端末から、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を出力し

、該情報を指定することにより、宛先が前記送信先に設定された情報送信モードに切り替えることを特徴とする。

【 0 0 4 2 】

また、複数の端末と、前記複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末に情報画面を供給するとともに、前記複数の端末から送信された情報を蓄積する通信手段とを有し、前記複数の端末にて前記通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信システムにおいて、

前記通信手段から前記端末に供給される情報画面には、指定することにより前記送信先を宛先とした情報送信画面を表示させる、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報が表示されていることを特徴とする。

【 0 0 4 3 】

また、複数の端末と、前記複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末に情報画面を供給するとともに、前記複数の端末から送信された情報を蓄積する通信手段とを有し、前記複数の端末にて前記通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信システムにおいて、

前記所望の情報の宛先は、前記情報画面上に表示された当該送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を指定することにより特定されることを特徴とする。

【 0 0 4 4 】

また、複数の端末と、前記複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末に情報画面を供給するとともに、前記複数の端末から送信された情報を蓄積する通信手段とを有し、前記複数の端末にて前記通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信システムにおいて、

前記通信手段から前記端末に供給される情報画面には、
前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報と、
該情報に隣接した領域に、指定することにより前記送信先を宛先とした情報送信画面を表示させるアイコンとが表示されていることを特徴とする。

【 0 0 4 5 】

また、複数の端末と、前記複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末に情報画面を供給するとともに、前記複数の端末から送信された情報を蓄積する通信手段とを有し、前記複数の端末にて前記通信手段から供給される情報画面上の所定の領域を指定することにより所望の情報を作成及び／もしくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示し、前記情報送信画面を用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信システムにおいて、

前記所望の情報の宛先は、前記情報画面上に表示された前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報に隣接して表示されたアイコンを指定することにより特定されることを特徴とする。

【 0 0 4 6 】

また、複数の端末と、前記複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末に情報群を供給するとともに、前記複数の端末から送信された情報を蓄積する通信手段とを有し、前記複数の端末にて前記通信手段から供給される情報群の中から所定の情報を指定することにより当該端末を、所望の情報を入力及び／もしくは送信するための情報送信モードに切り替え、前記情報送信モードを用いて所望の送信先に前記所望の情報を送信する電子情報送信システムにおいて、

前記通信手段から前記端末に供給される情報群には、指定されることにより、宛先が前記送信先に設定された情報送信モードに切り替える、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報が含まれていることを特徴とする。

【 0 0 4 7 】

また、複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末から送信された情報を蓄積するサーバにおいて、

所望の送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を前記端末に表示し、
該情報を指定することにより前記送信先を宛先として所望の情報を作成及び／も

しくは送信するための情報送信画面を前記端末に表示することを特徴とする。

【 0 0 4 8 】

また、複数の端末に接続可能に構成され、前記複数の端末から送信された情報を蓄積するサーバにおいて、

前記情報の送信先に関する電子情報を前記端末に表示し、該電子情報が指定された場合に、前記送信先を識別もしくは確認または選択可能な画面情報を前記端末に表示することを特徴とする。

【 0 0 4 9 】

(作用)

上記のように構成された本発明においては、通信手段から供給される情報画面を用いて所定の情報を送信する場合、情報画面上に表示された、送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を指定することにより、宛先がその送信先に設定された情報送信画面が表示され、該情報送信画面にメッセージを入力し、送信する。ここで、送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報としては、送信先の人物の顔写真等が挙げられる。すなわち、情報の送信者は、送信先の人物の顔写真等を用いて送信先を指定することになる。

【 0 0 5 0 】

これにより、所望しない送信先に情報を誤って送信してしまうことがなくなり、特に、同姓同名のユーザが存在したとしても情報の送信先を間違える虞れがなくなる。

【 0 0 5 1 】

また、送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報である送信先の人物の顔写真等を指定することのみで、宛先がその送信先に設定された情報送信画面が表示されるので、情報の送信者においては、情報の送信先を指定するための手間がかからない。

【 0 0 5 2 】

また、情報送信画面を、送信先の人物の顔写真が隠れないように表示する場合は、情報の送信者が送信先の人物の顔写真を見ながら情報を作成、送信することができる。

【 0 0 5 3 】

また、送信する情報に、送信者の顔写真等の送信元を識別可能な情報を付与した場合は、情報の受信者が、該情報の送信元を認識しやくすなる。

【 0 0 5 4 】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【 0 0 5 5 】

図 1 は、本発明の電子情報送信システムの実施の一形態を示す図である。

【 0 0 5 6 】

本形態は図 1 に示すように、複数の端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n と、複数の端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n と接続可能に構成され、端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n にて作成された情報画面であるホームページを登録し、端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n からのアクセスにより端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n に供給するとともに、端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n から送信された情報である電子メールを蓄積し、送信先の端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n に送信する通信手段であるサーバ 2 0 とから構成されている。

【 0 0 5 7 】

上記のように構成された電子情報送信システムにおいては、端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n にて作成されたホームページは、サーバ 2 0 に登録され、端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n からサーバ 2 0 にアクセスすることにより、端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n の画面上に表示される。

【 0 0 5 8 】

端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n のユーザが、端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n に表示されたホームページの開設元や該ホームページ上に表示される識別情報を有する端末への電子メールの送信を希望する場合、ホームページ内の所定のエリアをクリックすることによって、メーラーが立ち上がり、電子メールの宛先が所望の送信先に設定された情報送信画面である電子メール送信画面が表示される。

【 0 0 5 9 】

電子メール送信画面が表示された端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n のユーザは、電子メール送信画面に、送信先に伝達したい要件あるいは情報を入力し、送信する。

【 0 0 6 0 】

端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n から送信された電子メールはサーバ 2 0 を介して所望の送信先に送信される。

【 0 0 6 1 】

なお、端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n においては、サーバ 2 0 に登録されたホームページの内容をメンテナンスする場合、サーバ 2 0 に接続し、登録されたホームページの内容を更新あるいは削除する。

【 0 0 6 2 】

図 1 に示した電子情報送信システムにおいては、ホームページを登録しておく機能と電子メールを蓄積しておく機能とを 1 つのサーバ 2 0 に設けたが、端末 1 0 - 1 ~ 1 0 - n がそれぞれ互いに異なるプロバイダと契約している場合は、ホームページを登録しておくサーバと電子メールを蓄積しておくサーバとが異なるものとなる。

【 0 0 6 3 】

図 2 は、本発明の電子情報送信システムの他の実施の形態を示す図であり、図 1 に示した端末 1 0 - 1, 1 0 - 2 が互いに異なるプロバイダと契約している場合の例を示す。

【 0 0 6 4 】

本形態においては、端末 1 0 - 1 がサーバ 2 2 を有するプロバイダと契約しており、端末 1 0 - 2 がサーバ 2 1 を有するプロバイダと契約している。

【 0 0 6 5 】

そのため、端末 1 0 - 2 にて作成されたホームページはサーバ 2 1 に登録されることになり、また、端末 1 0 - 1 から送信された電子メールはサーバ 2 2 を介して端末 1 0 - 2 に送信されることになる。

【 0 0 6 6 】

以下に、上記のように構成された電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メールの送信までの動作を詳細に説明する。なお、以下の説明においては、図 1 に示した端末 1 0 - 2 が属する企業のホームページを端末 1 0 - 1 にて閲覧し、端末 1 0 - 1 から端末 1 0 - 2 に対して電子メールを送信する場

合を例に挙げる。

【0067】

(第1の実施の形態)

図3は、図1に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メールの送信までの動作の第1の実施の形態を説明するためのフローチャートである。また、図4は、図1に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メール送信画面への移行の第1の実施の形態を説明するための図であり、(a)はホームページの表示画面を示す図、(b)は(a)に示したページとリンクしてホームページの開設元の企業に属する人物の顔写真が表示されたページを示す図、(c)は電子メール送信画面を示す図である。

【0068】

端末10-1にてサーバ20に登録された端末10-2が属する企業のユーザのホームページにアクセスすると(ステップS1)、端末10-1の画面上に、図4(a)に示すような、電子メール送信を希望する場合にクリックするメールボタンを含む、端末10-2が属する企業のホームページが表示される(ステップS2)。

【0069】

端末10-1の画面上に表示されたホームページの中のメールボタンをクリックすると、端末10-1の画面上に、図4(b)に示すような、送信先を識別可能な情報である、ホームページの開設元の企業に属する人物の顔写真及び名前が表示される(ステップS3)。

【0070】

端末10-1のユーザが、端末10-1の画面上に表示された顔写真と名前のうち、電子メールの所望の送信先となる端末10-2のユーザの顔写真と名前からなるエリアをクリックすると(ステップS4)、メーラーが立ち上がり、図4(c)に示すような、電子メールの送信先が端末10-2に設定された電子メールの送信画面が表示される(ステップS5)。

【0071】

電子メールの送信画面が表示された端末10-1のユーザは、電子メールの送

信画面に、送信先に伝達したい要件あるいは情報を入力し（ステップ S 6）、電子メールを送信する（ステップ S 7）。

【 0 0 7 2 】

端末 1 0 - 1 から送信された電子メールはサーバ 2 0 を介して送信先の端末 1 0 - 2 に送信される。

【 0 0 7 3 】

このように本形態においては、電子メールを送信する前に、ホームページの開設元の企業に属する人物の顔写真が端末 1 0 - 1 に表示され、電子メールの送信者が、端末 1 0 - 1 に表示された顔写真によって送信先を特定して電子メールを送信するため、所望しない送信先に電子メールを誤って送信してしまうことを防ぐことができる。

【 0 0 7 4 】

また、電子メールの送信先のユーザと同姓同名のユーザが存在したとしても、顔写真によって電子メールの送信先を特定できるため、電子メールの送信先を間違える虞れがなくなる。

【 0 0 7 5 】

（第 2 の実施の形態）

図 5 は、図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メールの送信までの動作の第 2 の実施の形態を説明するためのフローチャートである。また、図 6 は、図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メール送信画面への移行の第 2 の実施の形態を説明するための図であり、（a）はホームページの表示画面を示す図、（b）は電子メール送信画面を示す図である。

【 0 0 7 6 】

端末 1 0 - 1 にてサーバ 2 0 に登録された端末 1 0 - 2 が属する企業のホームページにアクセスすると（ステップ S 1 1）、端末 1 0 - 1 の画面上に、図 6 （a）に示すような、ホームページの開設元の企業に属する人物の顔写真及び名前を含む、端末 1 0 - 2 が属する企業のホームページが表示される（ステップ S 1 2）。

【0077】

端末10-1のユーザが、端末10-1の画面上に表示された顔写真と名前のうち、電子メールの所望の送信先となる端末10-2のユーザの顔写真と名前からなるエリアをクリックすると（ステップS13）、メーラーが立ち上がり、図6（b）に示すような、電子メールの送信先が端末10-2に設定された電子メールの送信画面が表示される（ステップS14）。

【0078】

電子メールの送信画面が表示された端末10-1のユーザは、電子メールの送信画面に、送信先に伝達したい要件あるいは情報を入力し（ステップS15）、電子メールを送信する（ステップS16）。

【0079】

端末10-1から送信された電子メールはサーバ20を介して送信先の端末10-2に送信される。

【0080】

このように本形態においては、ホームページにアクセスした時点で、ホームページの開設元の企業に属する人物の顔写真が端末10-1に表示され、電子メールの送信者が、端末10-1に表示された顔写真によって送信先を特定して電子メールを送信するため、第1の実施の形態にて説明したものに加えて電子メール送信を希望する場合にメールボタンを探してクリックする手間を省くことができる。

【0081】

上述した第1及び第2の実施の形態においては、端末10-1の画面上に表示された、電子メールの送信先のユーザの顔写真と名前からなるエリアをクリックすることにより、メーラーが立ち上がり、電子メールの送信画面が表示されているが、クリック可能なエリアを顔写真のみのエリアあるいは名前だけのエリアとすることもできる。また、顔写真の一部（例えば、鼻、口等）のみをクリック可能なエリアとして設定することも考えられる。

【0082】

さらに、顔写真と名前からなるエリアと隣接するエリアに特定のアイコンを表

示させ、そのアイコンをクリックすることにより、電子メールの送信先が特定された電子メール送信画面を表示させることも考えられる。

【 0 0 8 3 】

図 7 は、図 1 に示した電子情報送信システムにて端末 1 0 - 1 の画面上に表示されるアイコンの一例を示す図である。

【 0 0 8 4 】

図 7 に示すように、端末 1 0 - 1 に表示される顔写真と名前からなるエリアと隣接するエリアに特定のアイコンをそれぞれ表示させ、表示されたアイコンのうち、電子メールの送信先となる端末 1 0 - 2 のユーザの顔写真と名前からなるエリアと隣接して表示されたアイコンをクリックすることによって電子メールの送信画面を表示させる。

【 0 0 8 5 】

なお、本形態においては、顔写真及び名前と同時にアイコンを表示しているが、所望の送信先の人物の顔写真と名前からなるエリアにカーソルを移動させた後に該エリアを指定するためのアイコンを表示することも考えられる。

【 0 0 8 6 】

(第 3 の実施の形態)

図 8 は、図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メールの送信までの動作の第 3 の実施の形態を説明するためのフローチャートである。また、図 9 は、図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メール送信画面への移行の第 3 の実施の形態を説明するための図であり、(a) はホームページの表示画面を示す図、(b) は (a) に示したページとリンクしたページを示す図、(c) は (b) に示したページに加えて顔写真が表示された状態を示す図、(d) は電子メール送信画面を示す図である。

【 0 0 8 7 】

端末 1 0 - 1 にてサーバ 2 0 に登録された端末 1 0 - 2 が属する企業のホームページにアクセスすると(ステップ S 2 1)、端末 1 0 - 1 の画面上に、図 9 (a) に示すような、電子メール送信を希望する場合にクリックするメールボタン

を含む、端末 1 0 - 2 が属する企業のホームページが表示される（ステップ S 2 2）。

【 0 0 8 8 】

端末 1 0 - 1 の画面上に表示されたホームページの中のメールボタンをクリックすると、端末 1 0 - 1 の画面上に、図 9（b）に示すような、ホームページの開設元の企業に属する人物の電子情報を含むページが表示される（ステップ S 2 3）。

【 0 0 8 9 】

端末 1 0 - 1 のユーザが、端末 1 0 - 1 の画面上に表示された電子情報のうち、電子メールの所望の送信先となる端末 1 0 - 2 のユーザの電子情報が記載された特定のエリアにカーソルを移動させると、図 9（c）に示すように端末 1 0 - 2 のユーザの顔写真及び名前が表示される（ステップ S 2 4）。

【 0 0 9 0 】

端末 1 0 - 1 のユーザが、端末 1 0 - 1 の画面上に表示された端末 1 0 - 2 のユーザの顔写真と名前を確認し、端末 1 0 - 2 の電子情報が記載された特定のエリアをクリックすると（ステップ S 2 5）、メーラーが立ち上がり、図 9（d）に示すような、電子メールの送信先が端末 1 0 - 2 に設定された電子メールの送信画面が表示される（ステップ S 2 6）。

【 0 0 9 1 】

電子メールの送信画面が表示された端末 1 0 - 1 のユーザは、電子メールの送信画面に、送信先に伝達したい要件あるいは情報を入力し（ステップ S 2 7）、電子メールを送信する（ステップ S 2 8）。

【 0 0 9 2 】

端末 1 0 - 1 から送信された電子メールはサーバ 2 0 を介して送信先の端末 1 0 - 2 に送信される。

【 0 0 9 3 】

（第 4 の実施の形態）

上述した第 1 ～第 3 の実施の形態において、電子メールの送信画面を端末 1 0 - 1 の画面全面に表示させずに、電子メールの送信先の端末 1 0 - 2 のユーザの

顔写真が電子メール送信画面によって隠れないように、画面の一部に表示させることも考えられる。

【 0 0 9 4 】

図 1 0 は、図 1 に示した電子情報送信システムにて電子メールの送信画面を端末 1 0 - 1 の画面の一部のみに表示させた例を示す図である。

【 0 0 9 5 】

図 1 0 に示すように本形態においては、電子メールの送信画面を端末 1 0 - 1 の画面全面に表示させずに一部のみに表示させ、それにより、電子メール送信画面が端末 1 0 - 1 に表示された場合においても、電子メールの送信先の端末 1 0 - 2 のユーザの顔写真が表示されたままの状態となっている。

【 0 0 9 6 】

これにより、端末 1 0 - 1 のユーザは電子メールの送信先の端末 1 0 - 2 のユーザの顔写真を見ながら電子メールを作成、送信することができる。

【 0 0 9 7 】

なお、上述した第 1 ～ 第 4 の実施の形態においては、送信先の人物の顔写真や名前を表示したが、企業団体等を特定できるマークを表示し、該マークをクリックすることによりその企業団体等に電子メールを送信することも考えられる。

【 0 0 9 8 】

(第 5 の実施の形態)

端末 1 0 - 1 に集合写真を表示し、その集合写真の中から所望の人物を選択し、該人物に電子メールを送信することもできる。

【 0 0 9 9 】

端末 1 0 - 1 に表示された集合写真に写っている人物の中から、端末 1 0 - 1 のユーザが電子メールを送信したい相手である端末 1 0 - 2 のユーザの顔を選択し、クリックする。

【 0 1 0 0 】

すると、メーラーが立ち上がり、電子メールの送信先が端末 1 0 - 2 に設定された電子メールの送信画面が表示される。

【 0 1 0 1 】

電子メールの送信画面が表示された端末 1 0 - 1 のユーザは、電子メールの送信画面に、送信先に伝達したい要件あるいは情報を入力し、電子メールを送信する。

【 0 1 0 2 】

端末 1 0 - 1 から送信された電子メールはサーバ 2 0 を介して送信先の端末 1 0 - 2 に送信される。

【 0 1 0 3 】

(第 6 の実施の形態)

図 1 1 は、図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メールの送信までの動作の第 6 の実施の形態を説明するためのフローチャートである。また、図 1 2 は、図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メール送信画面への移行の第 6 の実施の形態を説明するための図であり、(a) はホームページの表示画面を示す図、(b) は電子メール送信画面を示す図である。

【 0 1 0 4 】

端末 1 0 - 1 にてサーバ 2 0 に登録された企業のユーザのホームページにアクセスすると(ステップ S 3 1)、端末 1 0 - 1 の画面上に、図 1 2 (a) に示すような、企業団体等のホームページが表示される(ステップ S 3 2)。なお、この表示画面においては、端末 1 0 - 1 のユーザが企業団体等を識別できるような情報が表示されているものとし、例えば、その企業の本社ビル等、特徴があるものが表示されることが望ましい。

【 0 1 0 5 】

図 1 2 (a) に示すような画面は、全面が電子メールの送信画面へのリンクが施されているため、端末 1 0 - 1 のユーザが画面をクリックすると(ステップ S 3 3)、メーラーが立ち上がり、図 1 2 (b) に示すような、電子メールの送信先が、そのホームページの開設元の企業に設定された電子メールの送信画面が表示される(ステップ S 3 4)。

【 0 1 0 6 】

電子メールの送信画面が表示された端末 1 0 - 1 のユーザは、電子メールの送

信画面に、送信先に伝達したい要件あるいは情報を入力し（ステップ S 3 5）、電子メールを送信する（ステップ S 3 6）。

【 0 1 0 7 】

端末 1 0 - 1 から送信された電子メールはサーバ 2 0 を介して送信先の企業に送信される。

【 0 1 0 8 】

このように本形態においては、ホームページにアクセスした時点で、送信先の特徴を示す画面が端末 1 0 - 1 に表示され、電子メールの送信者が、表示された特徴によって送信先を確認して電子メールを送信するため、所望しない送信先に電子メールを誤って送信してしまうことがなくなる。

【 0 1 0 9 】

（第 7 の実施の形態）

上述した第 1 ～第 5 の実施の形態において、端末 1 0 - 1 から端末 1 0 - 2 に対して電子メールを送信する際に、端末 1 0 - 1 のユーザの顔写真を電子メールに添付すること考えられる。

【 0 1 1 0 】

本形態においては、電子メールを送信する際に、送信元となる端末 1 0 - 1 のユーザの顔写真を電子メールに添付する。この添付の方法については、メール自体に含ませてもよいし、添付ファイルとして添付してもよい。

【 0 1 1 1 】

これにより、電子メールを受信した端末 1 0 - 2 のユーザは、電子メールの送信元を、電子メールに含まれるメールアドレス等の情報と添付された顔写真とによって容易に認識することができる。

【 0 1 1 2 】

上述した実施の形態においては、端末 1 0 - 1 の画面に表示されるホームページを、電子メールの送信先となる端末 1 0 - 2 が属する企業のホームページとし、このホームページを用いて端末 1 0 - 2 に電子メールを送信する場合を例に挙げて説明したが、端末 1 0 - 1 の画面の表示されるホームページを端末 1 0 - 2 のユーザによって開設された個人のホームページとし、このホームページの開設

元である端末 1 0 - 2 に電子メールを送信することも考えられる。

【 0 1 1 3 】

この場合、端末 1 0 - 1 には、端末 1 0 - 2 のユーザが開設したホームページが表示される際に、端末 1 0 - 2 のユーザの顔写真や名前が表示され、これらを端末 1 0 - 1 のユーザがクリックすることによって、電子メールの送信先が端末 1 0 - 2 に設定された電子メール送信画面が端末 1 0 - 1 の画面上に表示され、端末 1 0 - 1 のユーザは、電子メールの送信画面に、送信先に伝達したい要件あるいは情報を入力し、電子メールを送信することになる。

【 0 1 1 4 】

なお、上述した実施の形態においては、送信先の人物の顔写真や名前、あるいは画面の任意の場所をクリックすることにより電子メールの送信先が特定されているが、本発明は、クリックに限らず、例えばその他にタッチパネル等のように画面に触れることにより送信先を特定するようなものであってもよい。

【 0 1 1 5 】

また、電子メールを作成及び送信する画面は電子メール送信画面として 1 つの画面としているが、別々の画面であってもよい。

【 0 1 1 6 】

また、サーバから供給されるホームページを用いて電子メール送信画面を表示させているが、本発明はホームページに限らず、例えばその他に、携帯電話の i - モード等の画面を用いて、送信先が設定された電子メール送信画面を表示させるようなものであってもよい。

【 0 1 1 7 】

また、送信される情報を電子メールとしたが、その他に画像情報や音声情報等であってもよく、さらに、音声情報の場合は、サーバから供給される情報や送信先の指定及びそれによるモードの切り替えも音声によることも考えられる。

【 0 1 1 8 】

【発明の効果】

以上説明したように本発明においては、通信手段から供給される情報画面を用いて情報を送信する場合、情報画面上に表示された、送信先の人物の顔写真等の

ような送信先を識別もしくは確認または選択可能な情報を指定することにより送信先が特定されるため、所望しない送信先に情報を誤って送信してしまうことを防ぐことができるとともに、情報の送信者にとって、手間をかけずに情報の送信先を指定することができる。

【 0 1 1 9 】

また、情報送信画面を、送信先の人物の顔写真が隠れないように表示するものにおいては、情報の送信者が送信先の人物の顔写真を見ながら情報を作成、送信することができる。

【 0 1 2 0 】

また、送信する情報に、送信者の顔写真等の送信元を識別可能な情報を付与したもののにおいては、情報の受信者が、該情報の送信元を容易に認識することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の電子情報送信システムの実施の一形態を示す図である。

【図 2】

本発明の電子情報送信システムの他の実施の形態を示す図である。

【図 3】

図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メールの送信までの動作の第 1 の実施の形態を説明するためのフローチャートである。

【図 4】

図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メール送信画面への移行の第 1 の実施の形態を説明するための図であり、(a) はホームページの表示画面を示す図、(b) は (a) に示したページとリンクしてホームページの開設元の企業に属する人物の顔写真が表示されたページを示す図、(c) は電子メール送信画面を示す図である。

【図 5】

図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メー

ルの送信までの動作の第 2 の実施の形態を説明するためのフローチャートである。

【図 6】

図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メール送信画面への移行の第 2 の実施の形態を説明するための図であり、(a) はホームページの表示画面を示す図、(b) は電子メール送信画面を示す図である。

【図 7】

図 1 に示した電子メール送信システムにて端末の画面上に表示されるアイコンの一例を示す図である。

【図 8】

図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メールの送信までの動作の第 3 の実施の形態を説明するためのフローチャートである。

【図 9】

図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メール送信画面への移行の第 3 の実施の形態を説明するための図であり、(a) はホームページの表示画面を示す図、(b) は (a) に示したページとリンクしたページを示す図、(c) は (b) に示したページに加えて顔写真が表示された状態を示す図、(d) は電子メール送信画面を示す図である。

【図 10】

図 1 に示した電子情報送信システムにて電子メールの送信画面を端末の画面の一部のみに表示させた例を示す図である。

【図 11】

図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メールの送信までの動作の第 6 の実施の形態を説明するためのフローチャートである。

【図 12】

図 1 に示した電子情報送信システムにおけるホームページの表示から電子メール送信画面への移行の第 6 の実施の形態を説明するための図であり、(a) はホ

ームページの表示画面を示す図、（b）は電子メール送信画面を示す図である。

【図 1 3】

一般的に電子メール送信画面を示す図である。

【図 1 4】

ホームページを用いて電子メールを送信する際の動作の一例を説明するための図であり、（a）は一般的なホームページの表示画面を示す図、（b）は電子メール送信画面を示す図である。

【図 1 5】

ホームページを用いて電子メールを送信する際の動作の他の例を説明するための図であり、（a）は一般的なホームページの表示画面を示す図、（a）に示したホームページにリンクしたホームページの表示画面を示す図、（c）は電子メール送信画面を示す図である。

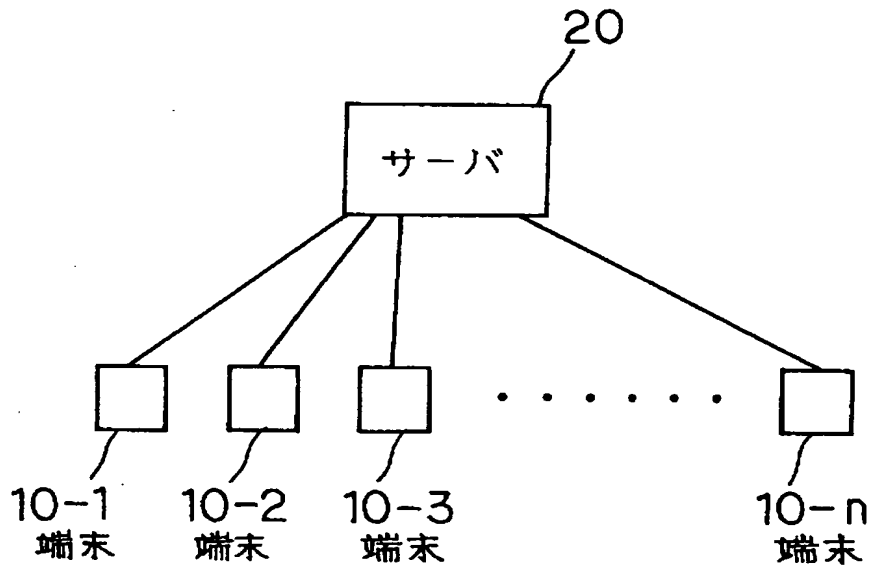
【符号の説明】

1 0 - 1 ~ 1 0 - n 端末

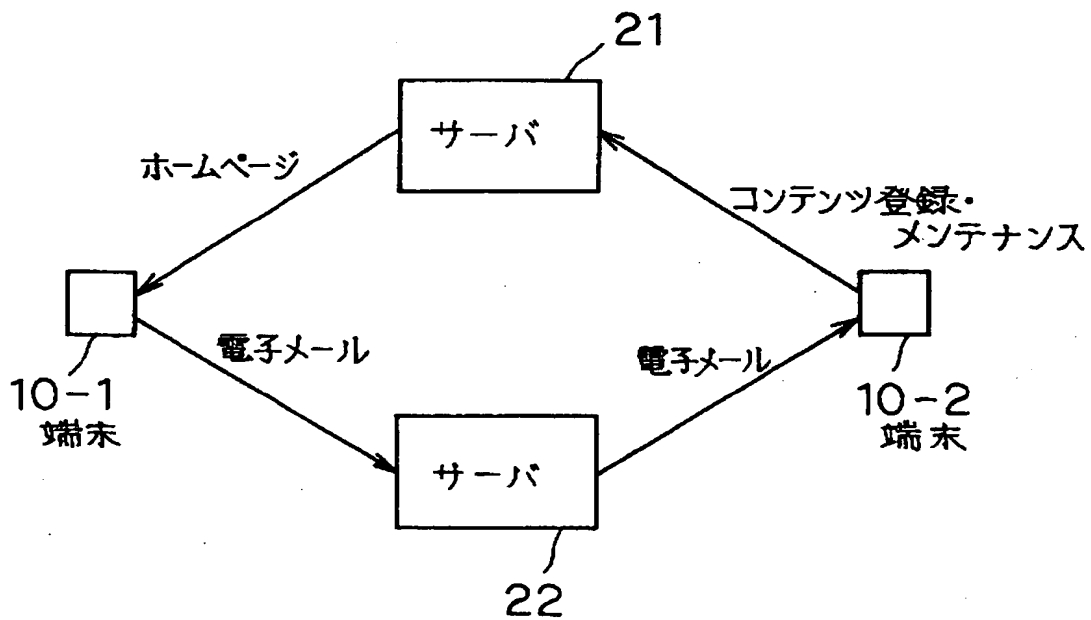
2 0, 2 1, 2 2 サーバ

【書類名】 図面

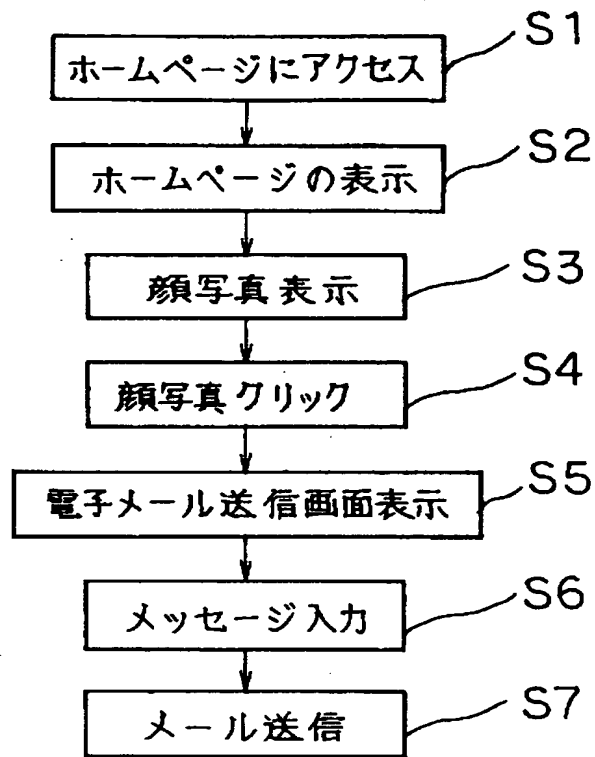
【図1】



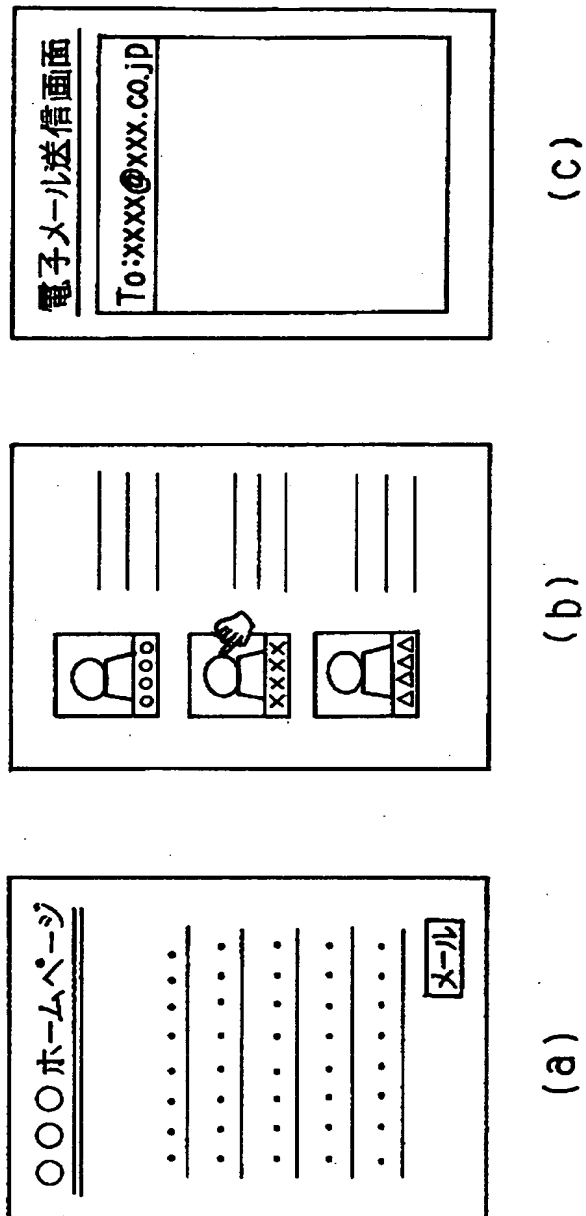
【図2】



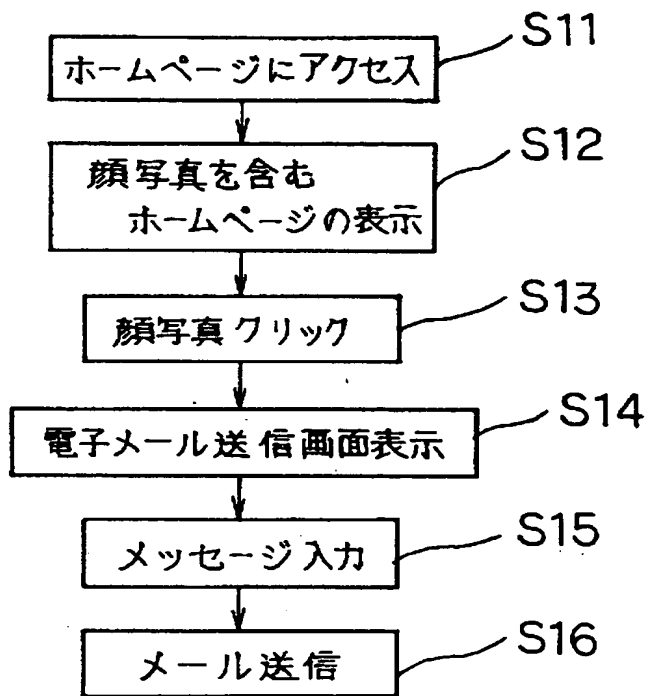
【図3】



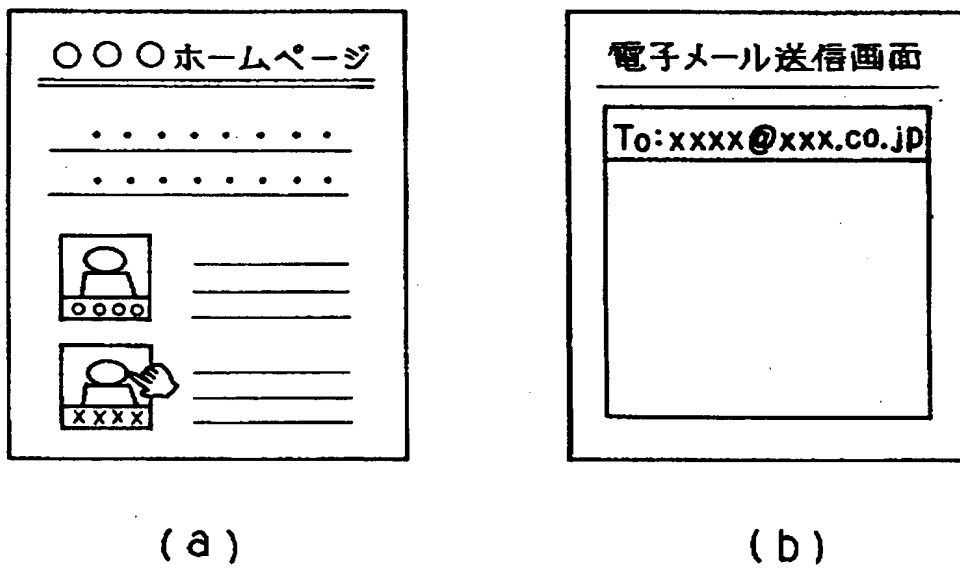
【図 4】



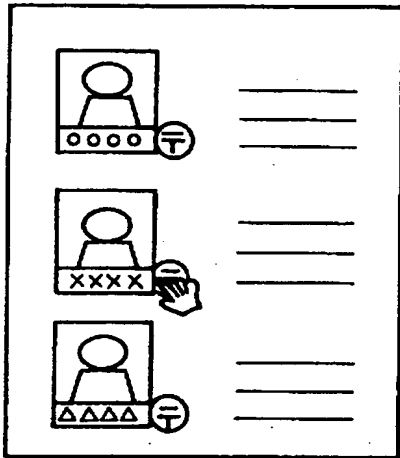
【図 5】



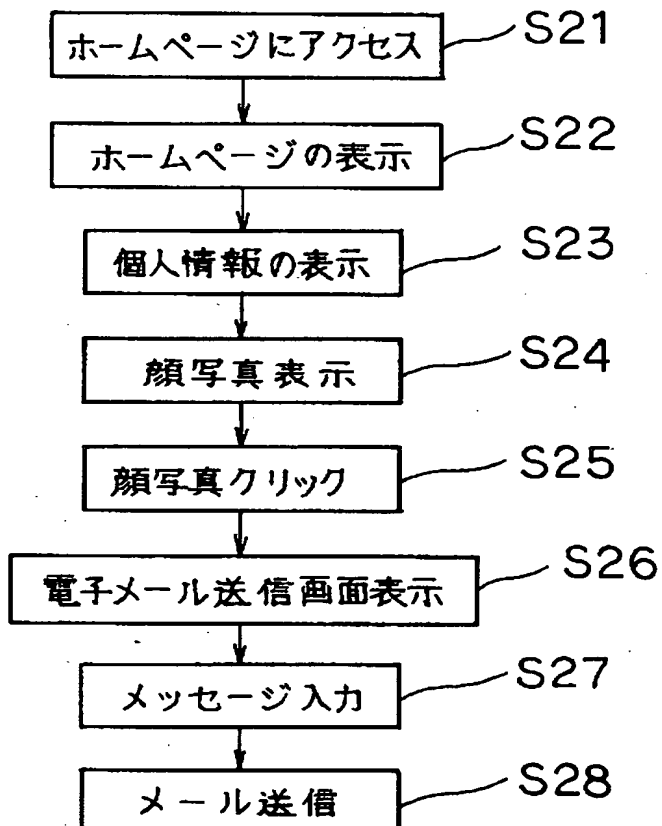
【図 6】



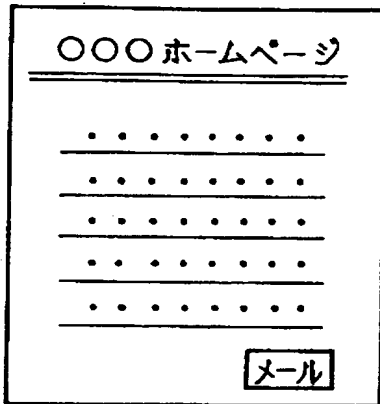
【図 7】



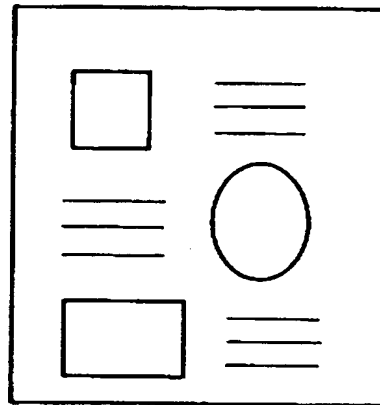
【図 8】



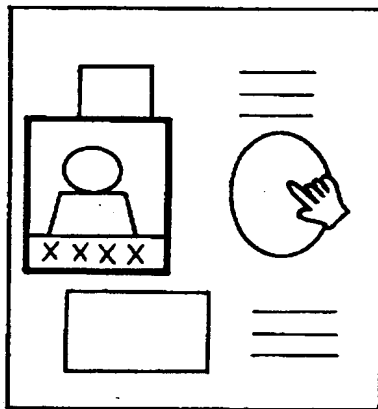
【図 9】



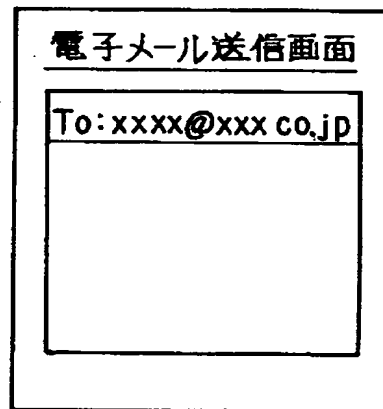
(a)



(b)

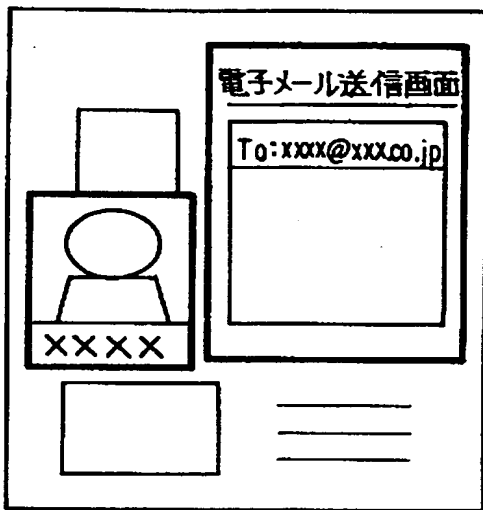


(c)

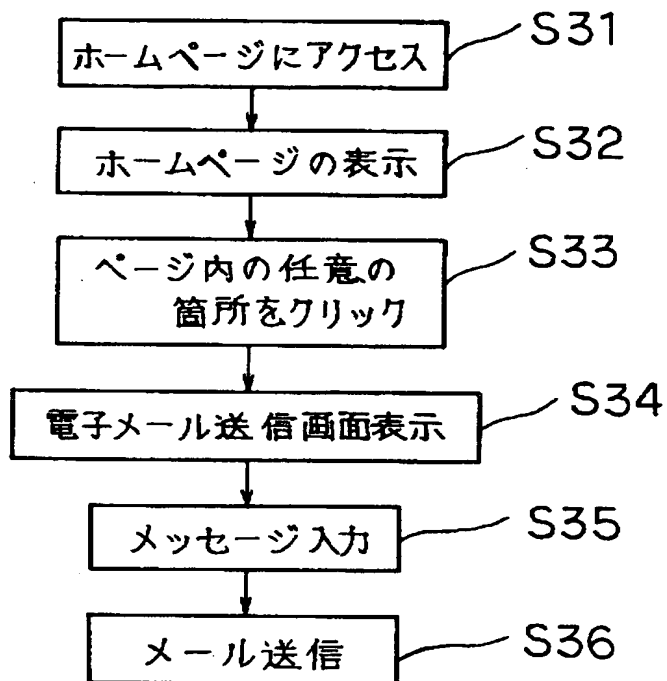


(d)

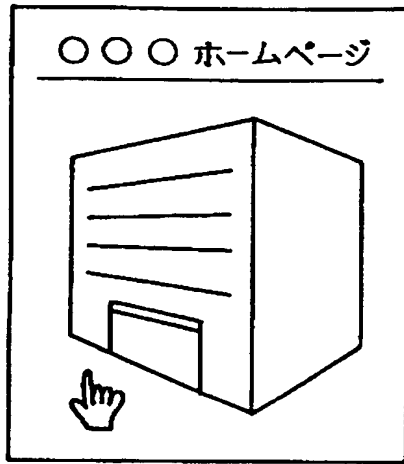
【図10】



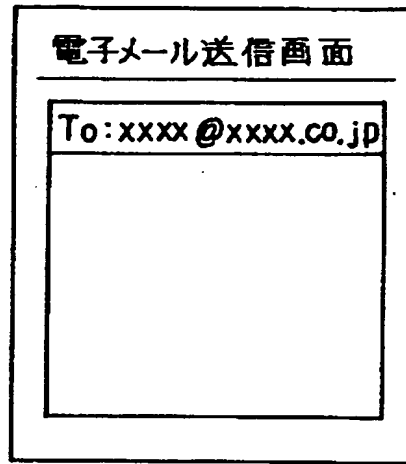
【図11】



【図12】

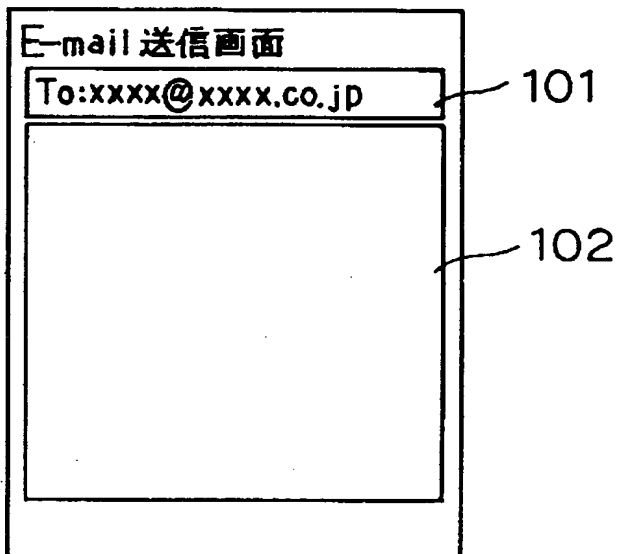


(a)

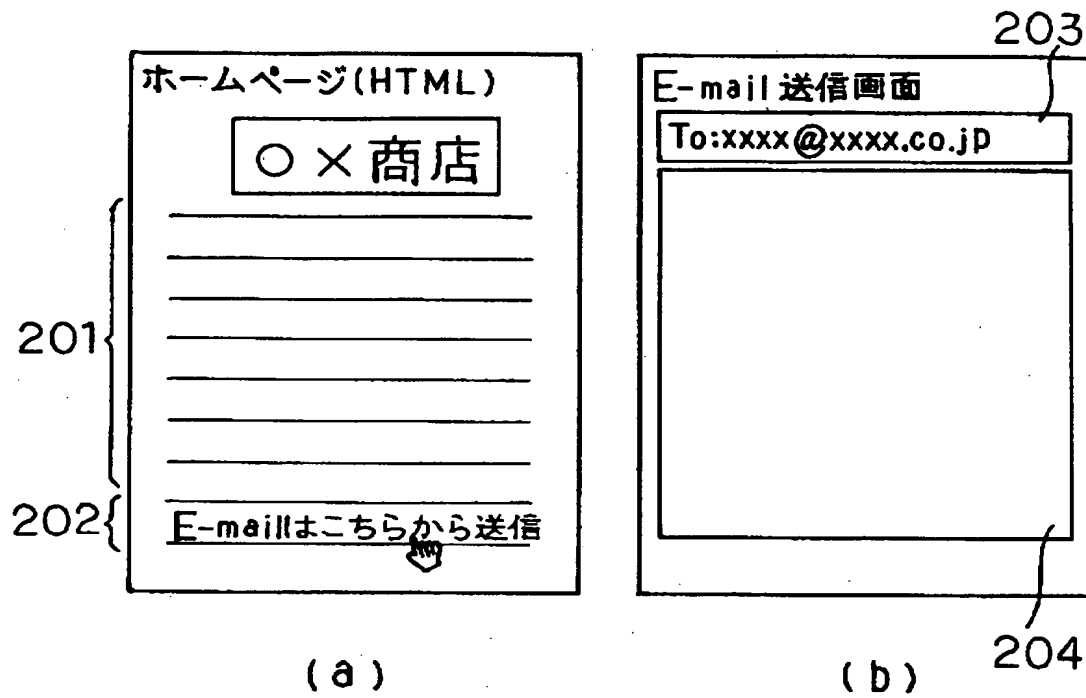


(b)

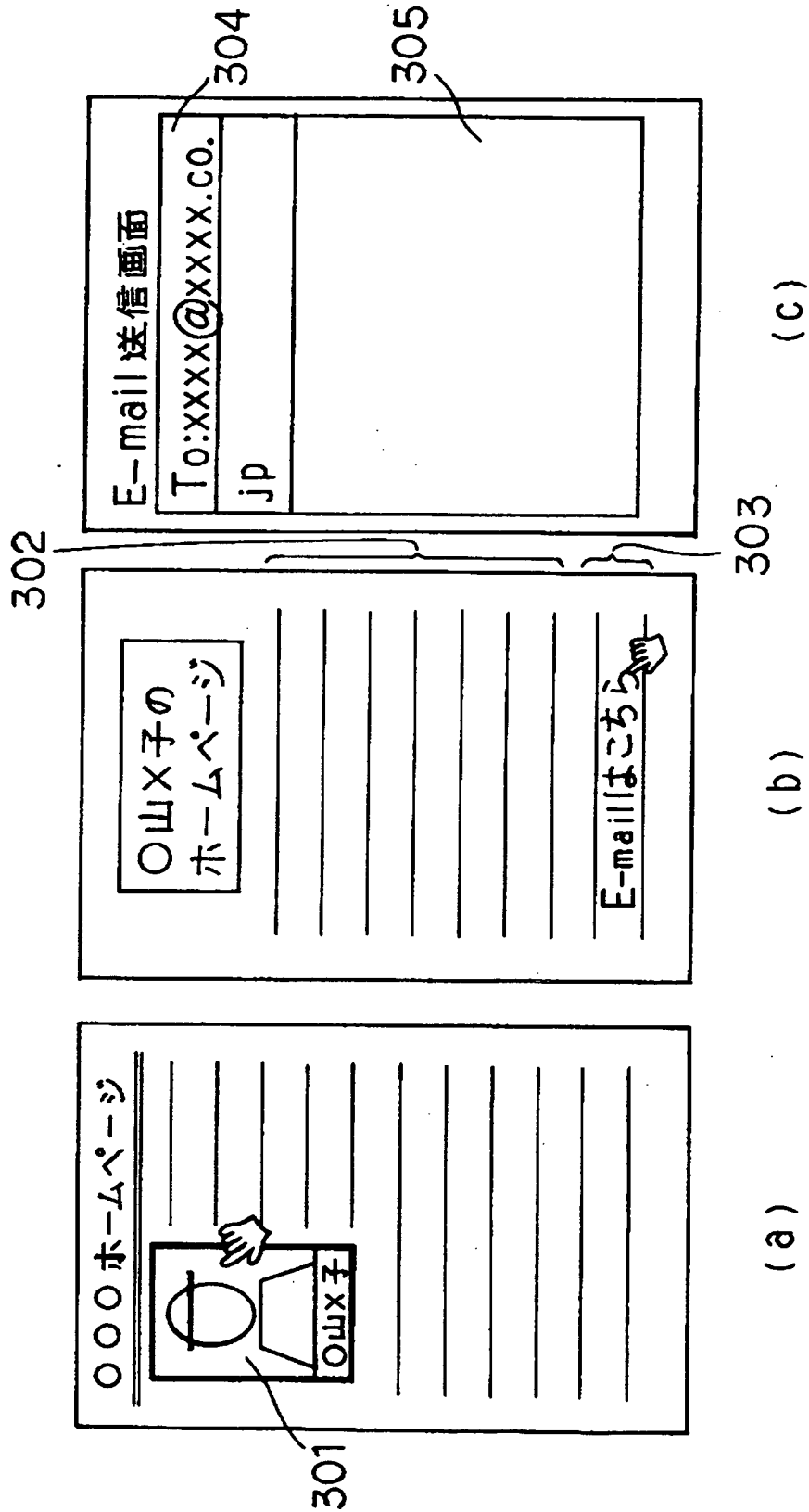
【図13】



【図14】



【図 15】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ホームページを用いて、正確にかつ手間をかけずに電子メールを送信する。

【解決手段】 ホームページ上に、電子メールの送信先の人物の顔写真を表示し、電子メール送信者がこの顔写真をクリックすることにより、宛先がこの人物に設定された電子メール送信画面を表示し、電子メールを作成、送信する。

【選択図】 図6

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社